

別紙① 個人別明細書 記入例

8 給与と支払報告書（個人別明細書）

※																
支払を受ける者																
住所 長野県伊那市下新田3050番地																
氏名 (フリガナ) イナ タロウ 伊那 太郎																
氏名 (フリガナ) イナ タロウ																
氏名 伊那 太郎																
種別		支払金額			給与所得控除後の金額 (調整控除後)			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額					
給与・賞与		5 137 000			3 668 800			3 896 250			0					
控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額			控除対象扶養親族等の数 (配偶者を除く。)			障害者の数 (本人を除く。)			非居住者である親族の数					
有 従有		380 000			1 1			1 2			1 1					
特定		老人			その他			特親			未 満 親 族 数					
人 従人		人 従人			人 従人			人 従人			人 従人					
3		3			3			3			3					
630 000		784 000			77 250			15 000								
(摘要)																
前職 (株)〇△□支払金額2,482,000円、社会保険料340,000円、源泉所得税9,000円 令和7年8月31日退職																
生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		旧生命保険料の金額		介護医療保険料の金額		新個人年金保険料の金額		旧個人年金保険料の金額		156,200				
住宅借入金等特別控除適用数		住宅借入金等特別控除(1回目)		住宅借入金等特別控除(2回目)		住宅借入金等特別控除区分(1回目)		住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(1回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)				
6		イナ ハナコ		イナ タケコ		イナ ジロウ		イナ マツコ		イナ タケコ		イナ ジロウ				
特別控除対象配偶者		氏名 伊那 花子			氏名 伊那 竹子			氏名 伊那 次郎			氏名 伊那 松子			氏名 伊那 太郎		
個人番号		4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5			2 3 4 5 6 7 8 9 0 1			8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9			5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6			8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		
配偶者の合計所得		0			16歳未満の扶養親族			国民年金保険料等の金額			旧長期損害保険料の金額			基礎控除の額		
0		0			0			215,600			36,000			680,000		
所得金額調整控除額		0			0			0			0			0		
受給者生年月日		昭和 52 11 17			中途就・退職			就職			退職			年 月 日		
元号		昭和 52 11 17			勤労学生			○			7 9 1			元号 年 月 日		
個人番号又は法人番号		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3			1 2 3			(右詰で記載してください。)			住所(居所)又は所在地			長野県伊那市下新田3050番地		
氏名又は名称		イーナ 株式会社			イーナ 株式会社			(電話) 0265-78-××××			氏名又は名称			イーナ 株式会社		

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

(市区町村提出用)

記入上の注意

① 受給者の氏名、フリガナ、住所、個人番号の記入を必ずお願いします。

② 給与所得控除後の給与等の金額を記載します。ただし、所得金額調整控除の適用がある場合は所得金額調整控除の額を控除した後の金額を記入してください。

③ 特定親族特別控除（受給者と生計を一にする年齢 19 歳以上 23 歳未満で、合計所得金額が 58 万円超 123 万円以下である親族等の控除）を適用する場合は、人数、控除額、区分を記入してください。合計所得金額が 58 万円以下は特定扶養控除の適用になります。どちらに該当するかを確認し、重複して記入することのないようご注意ください。

④ 前職を含んで年末調整している場合は、摘要欄に前職分の事業所名、給与支払額、社会保険料及び源泉徴収税額等を記入してください。

普通徴収に該当する方は、摘要欄に普通徴収切替理由書の該当する符号「普 A～普 F」を記入してください。

青色専従者の方は、「青専」と記入してください。

退職手当等を有する配偶者・扶養親族がいる場合は、摘要欄に氏名、令和 7 年中の所得の見積額（退職所得を除く）を記入した上で⑦「5 人目以降の 16 歳未満の扶養親族の個人番号」欄に個人番号を記入してください。

⑤ 「基礎控除の額」は年末調整の「給与所得者の基礎控除申告書」から転記してください。「所得金額調整控除額」は所得金額調整控除の適用がある場合に額を記入してください。

⑥ 控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者の、氏名、個人番号を記入してください。配偶者特別控除の対象となる配偶者もこちらの欄に記入することになっていきますので、ご注意ください。

また、配偶者の合計所得金額についても記入してください。

⑦ 16 歳未満（平成 22 年 1 月 2 日以降生まれ）の扶養親族の氏名、個人番号を記入してください。

⑧ ひとり親控除、寡婦控除の区分にご注意ください。

	対象者	本人所得要件
寡婦控除	① 夫と離別した者で、かつ扶養親族を有する者 ② 夫と死別した後婚姻していない者 ※ひとり親に該当する者は除く	合計所得金額 500 万円以下
ひとり親控除	現に婚姻をしていないもので、かつ、生計を一にする子（総所得金額が 58 万円以下）を有する者	合計所得金額 500 万円以下

※住民票の続柄に「夫（見届）」「妻（見届）」の記載のある者は対象外です。

⑨ 受給者の生年月日の記入を必ずお願いします。